

2025年3月のよてい

日	月	火	水	木	金	土
						1 閉所
2 閉所	3	4 家族さろん	5	6	7	8
9 音と動きワーク ショップ	10	11	12	13	14	15 閉所
16 閉所	17	18	19	20春分の日 閉所	21	22 閉所
23	24	25	26	27	28	29 閉所
30	31					

音と動きのワークショップ 参加者募集

*今回は午前の開催です！

- 日時** 2025年3月9日(日) 10:00 ~ 11:30
- 場所** ブラッツ スタジオ
*今回は会場が変わります ル・シーニュの5階です
- 応募条件** 障害のある方 介助者の方含め10名(付き添いの方も一緒に参加していただきます)
- 参加費** 無料
- 介助者について** 障害児及びお一人での参加が難しい方は介助者も一緒にご参加ください。当センターのイベントに初めて参加される方は、介助者について相談させていただきますので別途ご連絡いたします
- 備考** 動きやすい服装・靴でご参加ください。水分補給用の飲み物をお持ちください。必要に応じてマスク着用をお願いすることがありますのでご了承の上、ご持参ください。体調の優れない場合や熱のある方は参加をお控えください。
- お申込みバ切** 3月 3日(月)16:00バ切 *結果は締め切り後、連絡いたします



お申込みフォームQR

申込フォーム・電話・FAX・メールいずれかの方法で以下の内容を添えてお申し込みください。

①申込イベントタイトル ②お名前 ③介助者 ④障害名 ⑤電話番号

発行所
特定非営利法人障害者団体定期刊行物協会
〒157-10073 東京都世田谷区砧6-26-21
定価500円

家族さろん

- 日にち 2025年3月4日(火)
- 時間 13:30~15:00
- 対象 高次脳機能障害の方のご家族



お申込みフォームQR



★参加ご希望の方はお電話、または右上のQRよりお申込みください★

042-358-1085 本多まで

地域生活支援センターあけぼの 月刊つうしん

SSKS

ぼ～のぼ～の！

2025

☆ 3月号 No.260 ☆

地域生活支援センターあけぼの 2024年度活動報告



3月号は1年間の活動報告です。たくさんの方にご参加いただきました。

社会福祉法人あけぼの福祉会 地域生活支援センターあけぼの

〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル1階
電話：042-358-1085 / FAX：042-336-9085
メール：siencenter@akebono.fuchu.tokyo.jp

開所時間



(月) (水) (金)
10:00~19:00
(火) (木)
10:00~17:00
第2・4・5(日)
10:00~17:00



センターメールQR

ちいき せいかつ しえん ねんど かつどうほうこく 地域生活支援センターあけぼの 2024年度活動報告

今年度も地域生活支援センターあけぼのでは、府中市の障害のある方に向けた各種イベント・学習会等を行ないました。

料理教室



8月 アフターヌーンティー

10月 蒸し器も登場！



計4回開催しました(12月は都合により中止)。コロナ対策で持ち帰りにしていましたが、今年度から参加者で会場で食べています。スープや麺類・茶わん蒸しなど持ち帰りではできなかったメニューが復活しました。

外出企画



7月 ポッチャ体験



5月 府中市内観光ツアー



2月 いちご摘み



11月 井の頭動物園

計4回開催しました。今年度はコロナ対策で控えていた「電車に乗って外出」もしました。府中市観光ボランティアの会のガイド付きツアーも昨年に続き2回目の開催でしたが、「来年はいつやるの?」と大変好評でした。

学習会

12月学習会



「高齢障害者の介護保険と障害福祉サービス」

介護保険サービスと障害福祉サービスを併用できる条件や高齢障害者の介護保険サービスの利用者負担軽減制度などを学びました。高齢者の支援関係者の方の参加が多くありました。

高次脳機能障害支援促進事業



家族さろん



今年度は新しく2名の高次脳機能障害の方の家族も参加され、さまざまなお話をしました。通院や運転免許、リハビリのことについて情報共有でき、皆さんほっとされた表情でした。

学習会

障害者就業・生活支援センターオープナーの方に事業所の紹介と事例紹介をご講演いただきました。他の就労支援機関との違いや連携、医療機関との情報共有についても詳しくお話していただき、参加者からも大変有意義な時間になったとアンケートに多数記載がありました。



つながろう会(関係機関連絡会)

今年度1回目はグループホーム樹林の家の見学をしました。地域にある障害のある人のグループホームでの生活を紹介しました。2回目は世田谷公園前クリニックの長谷川先生をお迎えして事例検討会を開催しました。医療や介護、障害などの制度をまたいで情報共有できました。

さろんdeほ～の

高次脳機能障害の当事者に集まっていただき、生活の中で活かせるリハビリを行ったり、お花見や浅間山に散歩に行ったり、楽しみながら活動できました。同じ障害の人どうし安心してお話ができる場になっています。



音と動きのワークショップ



1月のテーマは「雪の踊り」後半ではなんと、ビニールをアイテムとして使用しました！

計6回開催しました。楽器を使ったり、音楽を流したりするために防音設備のある会場にしています(芸術劇場分館かプラッツのスタジオ)。毎回テーマがあり、みんなで楽しく体を動かします。5月は「風の語らい 新聞紙を使って」7月は「真夏のカーニバル」9月は「座ってフォークダンス」11月は「音とポーズのリレー」などなど。楽器や時には新聞紙を使って、破ったり振ったりして音を楽しみながら体を動かしました。

家族相談



2月 相談員とお話し会

地域生活支援センターあけぼのでは、障害当事者や障害のある方のご家族が相談員となり、同じ悩みを持つかたの相談にのっています。今回は、「障害のある方の通院先」をテーマに決めて「お話し会」をしました。